

基本評価シート
様式

青森県 環境生活部 自然保護課

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名 ^{※1}	令和4年度青森県指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務		
	令和4年度ニホンジカ生息状況調査委託事業		
	令和4年度大型獣捕獲講習会開催業務		
都道府県名	青森県	担当者部・係名	環境生活部自然保護課
担当者名	高木	担当者連絡先	017-734-9257
捕獲実施事業者	一般社団法人青森県猟友会 (認定鳥獣捕獲等事業者)	予算額 ^{※2}	18,869,882円
		予算額の内捕獲に要する経費 ^{※3}	7,887,000円

※1 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

※2 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

※3 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和4年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
30頭	9頭	30%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
—	生息密度の低減	—
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
58頭	21頭	—

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

本県では、1910（明治43）年代にニホンジカが地域絶滅したとされてきたが、1992（平成2）年に八戸市で死亡個体が回収されて以降、各地で目撃及び死亡個体が収容される事案が発生し、2015（平成27）年には初めて農業被害が確認された。

目撃頭数は増加傾向にあり、ニホンジカの定着と基幹産業である農林業への被害拡大や豊かな自然環境などへの影響が懸念されている。

このため、県では、ニホンジカ初動対策事業を実施するとともに、平成29年度に第二種特定鳥獣管理計画（第1次）、令和3年度には第二種特定鳥獣管理計画（第2次）を策定し、生息状況の把握などに取り組んでいるほか、ニホンジカを捕獲する機会が少ない狩猟者を対象に捕獲技術の向上を図る研修会を開催するなど、捕獲体制の強化を図っている。

2. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>青森県におけるニホンジカを目撃情報は、近年、急増しているとともに、平成27年度には初めて農業被害が確認され、今後、自然環境への影響や農林業被害の拡大が懸念されている。</p> <p>このため、本県では、平成29年9月に第二種特定鳥獣管理計画（第1次ニホンジカ）、令和3年度に第二種特定鳥獣管理計画（第2次ニホンジカ）を策定し、ニホンジカに対して科学的かつ計画的な管理を実施していくとしており、県内でもニホンジカを目撃情報が多い、三八・上北地域において指定管理鳥獣捕獲等事業を実施し、捕獲圧の強化を図る。</p> <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置付けも記載する。</p>
	<p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	<p>令和4年9月1日～令和5年3月31日</p> <p>（内、捕獲作業を行う期間）</p> <p>・はこわな：令和4年10月1日～令和5年3月13日</p> <p>・銃猟：令和4年11月1日～令和5年3月13日</p>
実施区域	三八地域及び上北地域
関係機関との協力	事業実施場所についての地域住民との調整
事業の捕獲目標	<p>（ 30 %達成）</p> <p>=（ 9 実績値） / （ 30 目標値）</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り <input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>【わな猟】</p> <p><input type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※1：各種猟法の定義は○ページ参照 ※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載： ）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※複数チェック可</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>

項目	概要
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：誘引餌にヘイキューブを使用し、誘引される種を限定。) <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	<p>鉛製銃弾について</p> <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	鳥獣捕獲等事業の実施に係る安全管理規程に基づき実施
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>捕獲従事者数： 162人 (内訳)</p> <p>正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制：162人</p>

3. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	<p>【評価】</p> <p>令和4年度事業計画の目標である30頭に対して、捕獲実績は合計9頭と計画目標を下回った。 要因としては、ニホンジカの生息状況が低密度であったこと、降雪量が少なく、足跡での追跡が困難であったことが挙げられる。</p>
	<p>【改善点】</p> <p>目撃情報やモニタリング調査等から効率的かつ効果的な捕獲方法を検討するほか、くくりわなの導入を検討し、捕獲圧の強化を図る。</p>
【実施期間】	<p>【評価】</p> <p>10月から実施することで、箱わなの設置・確認等を適切に実施することができた。</p>
	<p>【改善点】</p> <p>—</p>
【実施区域】	<p>【評価】</p> <p>捕獲数が多い三八地域に加え、目撃情報が増加している上北地域も実施区域とした。</p>
	<p>【改善点】</p> <p>—</p>

【捕獲手法】	【評価】 捕獲実績のすべてが銃猟によるものであった。 昨年度より忍び猟の割合を増やしたものの、生息状況が低密度であるほか、例年より積雪が少なく追跡が困難であったこと等が影響し、捕獲数が伸びなかった。 箱わなについては、設置基数を減らしたこともあり、捕獲されなかった。
	【改善点】 くくりわなの導入など、効果的な捕獲手法の検討を引続き行う。 箱わなについては地域により捕獲に適する方法とされる場合があるため、引続き使用を検討し、データを蓄積する。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	【評価】 公募によって決定した認定鳥獣捕獲等事業者である一般社団法人青森県猟友会は、地域に精通した捕獲従事者が多く所属しており、事業の実施に適切な体制のもと実施された。
	【改善点】 引き続き、認定鳥獣捕獲等事業者に委託し、事業者には適切な実施体制に努めるよう指導する。
【個体処分】	【評価】 焼却または埋設処分が適切に実施された。
	【改善点】 —
【環境配慮】	【評価】 地域の静穏等に配慮して実施されており、錯誤捕獲もなかった。
	【改善点】 —
【安全管理】	【評価】 安全管理規程を遵守し、事故なく安全に実施された。
	【改善点】 —
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
—	
4. 全体評価	
本事業では捕獲目標頭数30頭に対して捕獲実績が9頭（達成率30%）であったものの、実施区域において一定の捕獲圧をかけることができた。 事業区域としている三八地域は、県内でも積雪量が少ない地域であり、低密度の生息状況を加味すると、今後も足跡に頼る追跡が困難となる可能性がある。そのため、モニタリング調査や目撃情報の収集を継続し、越冬好適地予測の精度を高める等、より適切な場所や手法を検討したうえで、捕獲事業を実施していく必要がある。 また、効果的な捕獲手法としてくくりわなの導入を検討し、関係機関と連携して捕獲圧を高めていく必要がある。	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

管理計画では、三八地域の生息密度を平成28年度の水準（平均糞塊密度 1.07 糞塊/km）以下に抑えることを目標としており、平均糞塊密度が増加傾向である状況においては、積極的な捕獲が求められる。

事業実施区域は、県内でも平均糞塊密度の高い地域であり、本事業による捕獲圧が生息密度の増加の抑制に一定の寄与があると考えられるが、管理計画の目標を達成するためには、更なる捕獲圧の強化が必要である。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	

項目	整備状況	備考
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input checked="" type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数* <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※延べ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUEの地図を作成できない
SPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUEの地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数^{※1} : 524 人日

事前調査人日数概数^{※2} : 58 人日

出猟（捕獲作業）人日数 : 466 人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	524人日	529人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1：事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2：事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数^{※1} : 144 人日

事前調査人日数概数^{※2} : 5 人日

出猟（捕獲作業）人日数 : 139 人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	156基日	278基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1：事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2：事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	9頭	20頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②目撃数	40頭	63頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.1	0.1	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.2	0.2	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	— 頭	— 人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	5頭	361人日	0.014 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	0.091 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟	4頭	105人日	0.038 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	0.086 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	— 頭	— 人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	— 頭	— 人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	— 頭	— 人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数/のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数/のべ人日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	0頭	0頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	—	—	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	—	—	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※ ¹	CPUE※ ²
<input type="checkbox"/> くくりわな	— 頭	— 基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	0 頭	1 5 6 基日	0 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	— 頭	— 基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	— 頭	— 基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 不明 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 個体

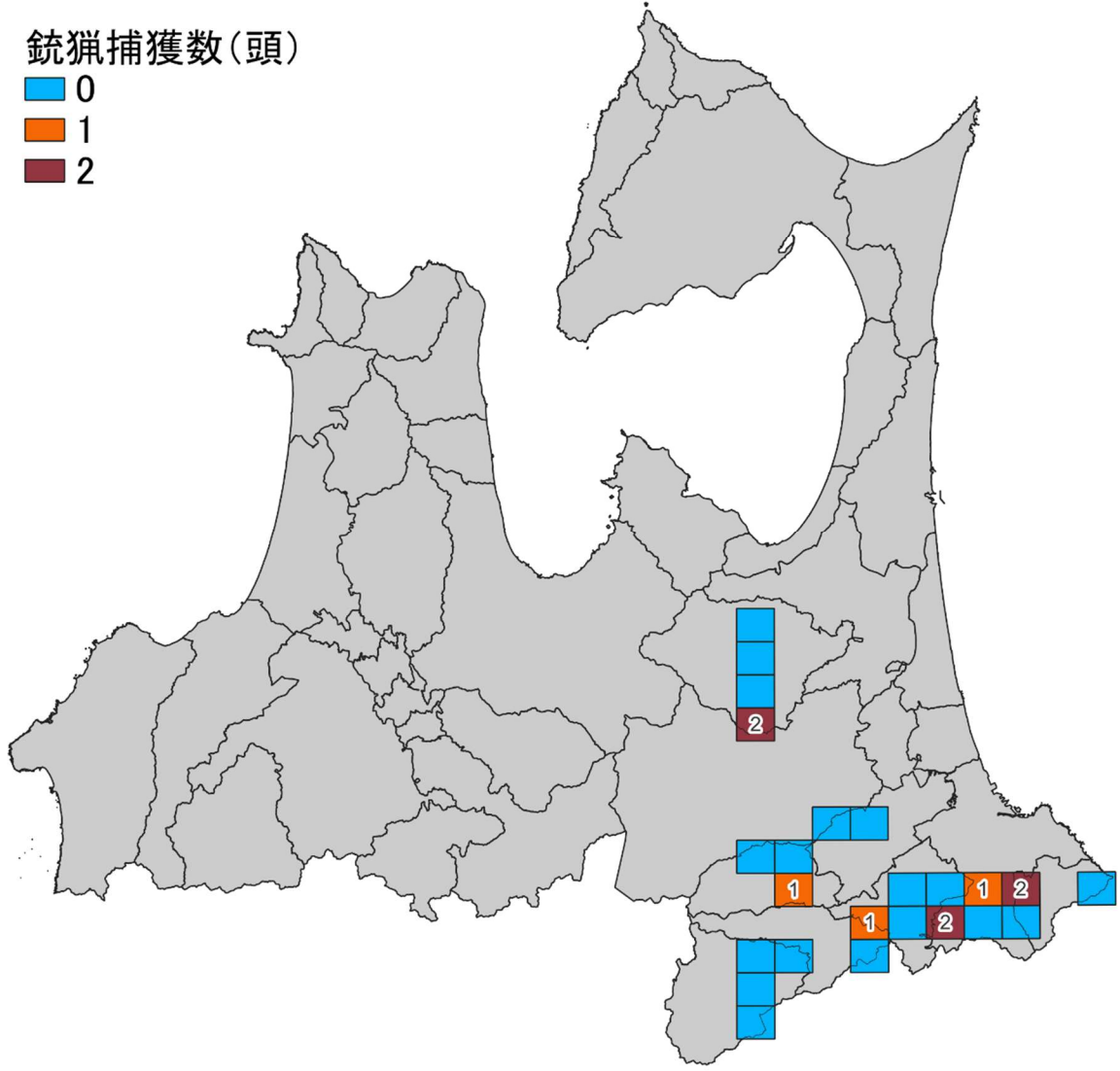
【適正な捕獲が実施されたかを確認する手法】

捕獲結果の報告様式により、処置の概要を確認。

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。

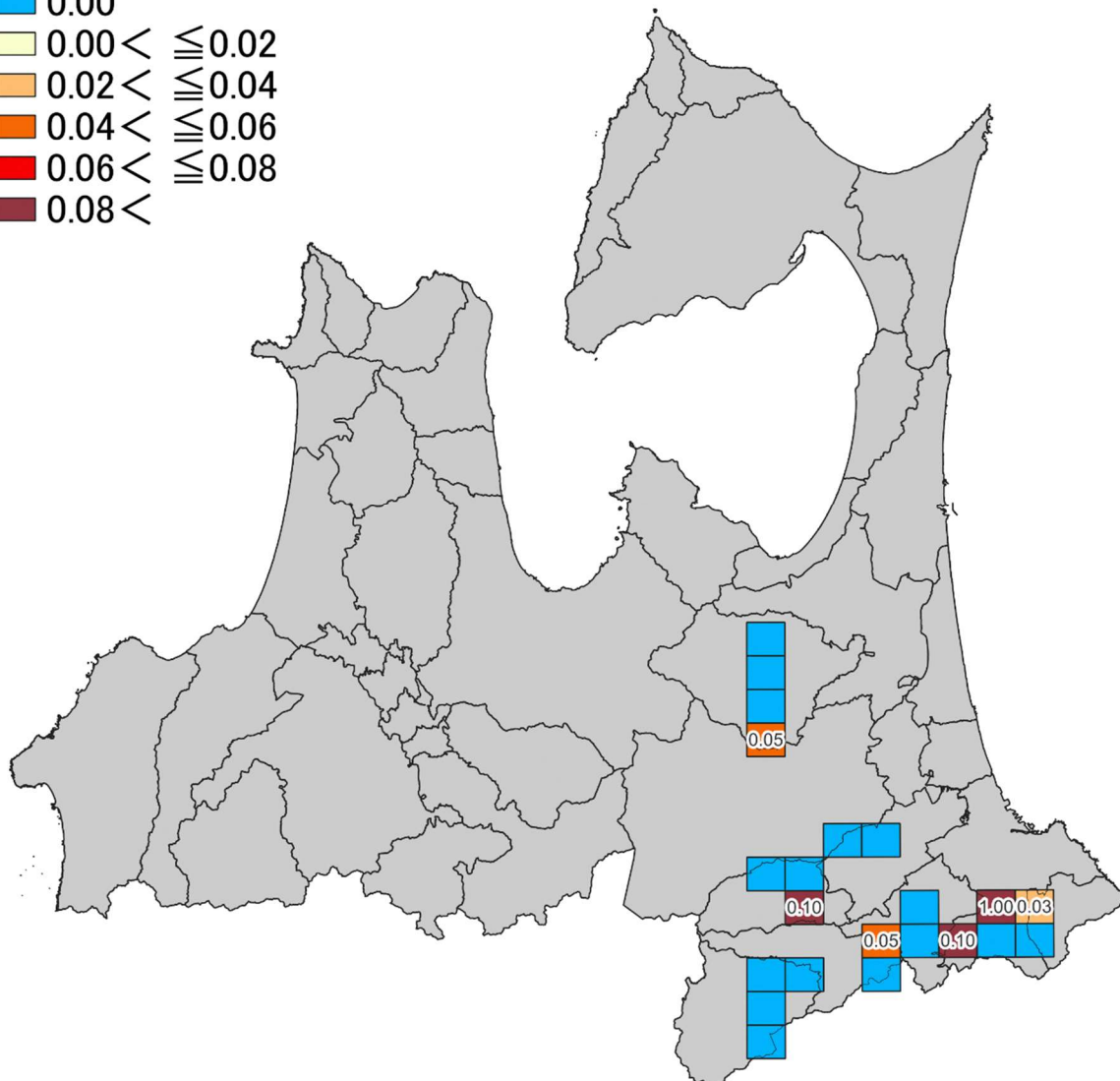
<令和4年度ニホンジカ捕獲頭数マップ（指定管理）>



<令和4年度ニホンジカ CPUE マップ (指定管理) >

銃猟捕獲効率(頭/人日)

- 0.00
- 0.00 < ≤ 0.02
- 0.02 < ≤ 0.04
- 0.04 < ≤ 0.06
- 0.06 < ≤ 0.08
- 0.08 <

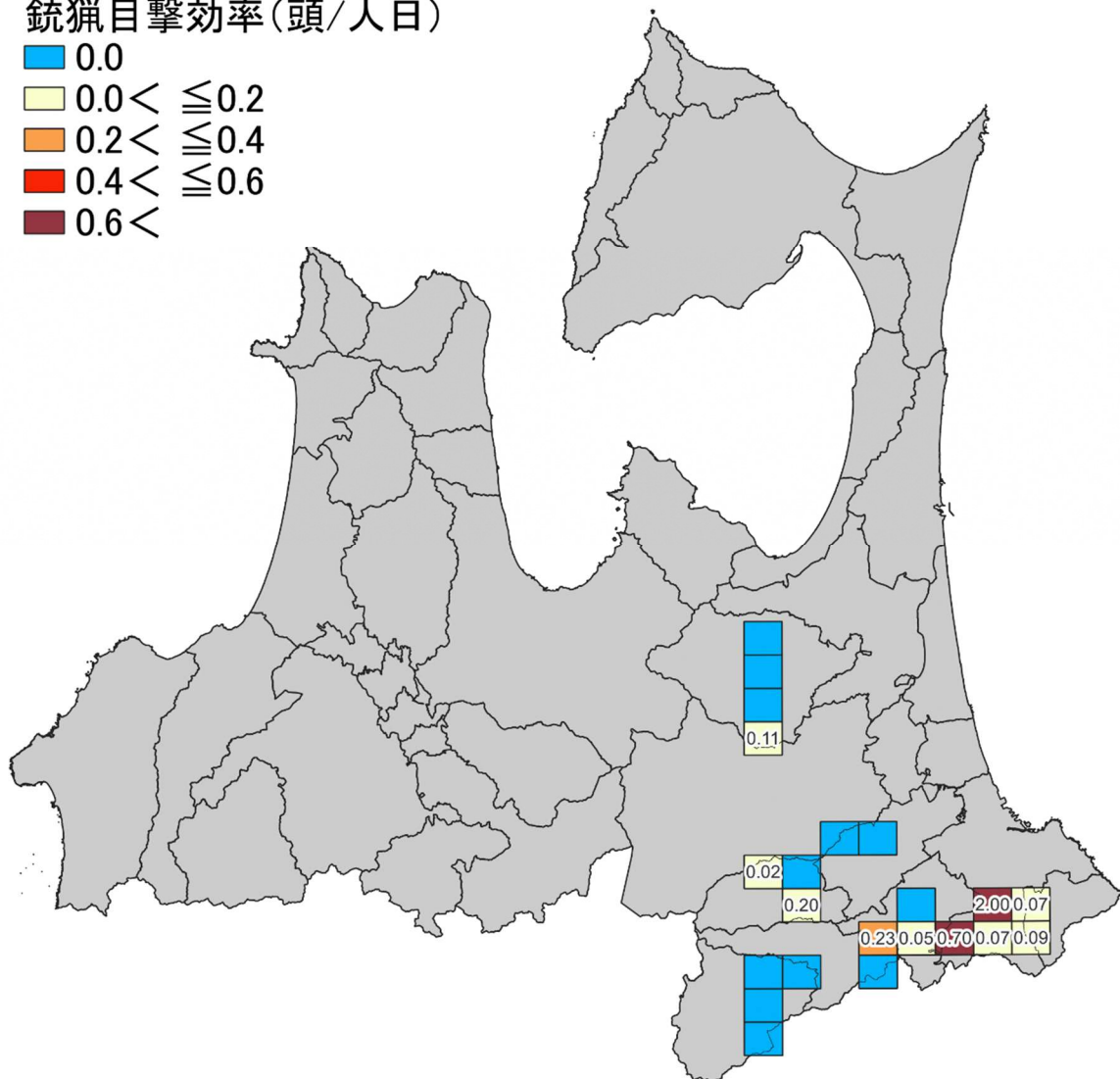


※CPUE : 捕獲努力量あたりの捕獲頭数

<令和4年度ニホンジカ SPUE マップ (指定管理) >

銃猟目撃効率(頭/人日)

- 0.0
- 0.0 < ≤ 0.2
- 0.2 < ≤ 0.4
- 0.4 < ≤ 0.6
- 0.6 <



※SPUE : 捕獲努力量あたりの目撃頭数

(別紙6)

青森県における認定鳥獣捕獲等事業者等の育成に係る評価報告

1 認定鳥獣捕獲等事業者等の現状や課題等

本県では、指定管理鳥獣であるニホンジカやイノシシの目撃件数が年々増加し、その範囲も県全域に拡大していることから、県内の農林業被害や生態系への影響等が懸念されている。

一方、これらを捕獲する狩猟者の減少や高齢化などにより、持続的な狩猟体制を維持することが困難な状況であり、かつ、青森県の多くの狩猟者は鳥類や小動物を狩猟対象としているため、大型獣類の捕獲技術を有する狩猟者は少ない状況にある。

そこで、指定管理鳥獣等の捕獲に必要な狩猟技術の向上を図るとともに、人獣共通感染症の予防対策として捕獲した個体の適切な解体処理技術の知見を有した狩猟者を養成する必要がある。

2 1の課題等に対応するため、本事業で実施した取組内容

「大型獣捕獲講習会」を計4日間開催し、のべ27名の狩猟者が参加した。各講習は以下のとおり。

1 知識講習

(1) 開催日：令和4年11月5日

(2) 内容：野生鳥獣の被害の現状、捕獲方法等の講義

2 狩猟技能講習：

(1) 開催日：令和4年11月6日

(2) 内容：県内射撃場における射撃実習

3 狩猟体験

(1) 開催日：令和4年12月3日、4日

(2) 内容：岩手県釜石市における狩猟体験、解体処理の実習

注：実施した研修会等の内容及び参加人数等を記入すること。

3 2の取組に対する評価と今後の課題等

大型獣の捕獲技術を有する狩猟者は養成されたが未だに少ない状況にあるため、引き続き指定管理鳥獣等の捕獲に必要な狩猟技術や解体処理技術の知見を有した狩猟者を養成していく必要がある。

注：1の課題等も踏まえ、取組の評価を具体的に記入すること。

また、評価を通じ明らかになった今後の課題等についても記入すること。

4 その他

なし

注：特記すべき事項があれば記入すること。